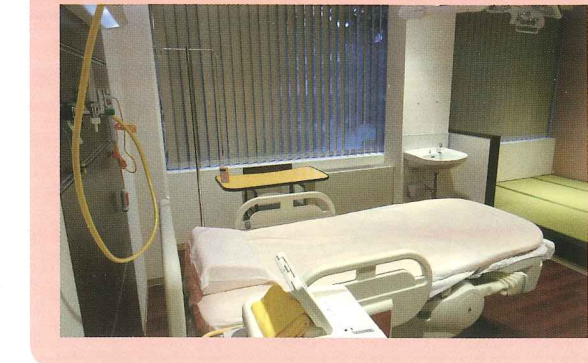


さざなみ



産科新病棟開設によせて

同愛記念病院産婦人科部長 小泉 佳男

本年9月より当院2階の産婦人科病棟が全面改装され、産科専用病棟として新規にスタートすることになりました。ここに産科新病棟を紹介させていただきます。

病床数は35床、内訳は個室7室、4人部屋7室、LDR(陣痛待機、分娩一体型ルーム)2室、陣痛待機室1室、新生児室、その他シャワールーム、パウダールーム、面談室を完備しております。

従来の産婦人科病棟との違いは、産科専用病棟としたことです。それに伴い婦人科は4階病棟(混合)に移転しました。ちなみに産科とは妊産婦さんを対象とする分野で、婦人科とは子宮、卵巣などの疾患の患者さんを主に対象とする分野です。

この度、産科専用により、施設面で従来になかったLDR、パウダールームといった新たな部屋を用意し、アメニティーの充実をはかりました。そして大部屋のベッド間のスペースを十分に取り、できるだけプライバシーを保たれるようにし、さらに病棟の廊下からガラス越しに新生児室の赤ちゃんを間近に見ることができるようになりました。それらのことにより、妊婦さんにより快適な入院生活を送っていただきたいのはもちろん、ご家族にとっても居心地の良い空間を提供できればと考えております。

LDRについては分娩時に立ち会うご家族が寛げるように和室も併設してあります。今やお産はご家族皆様で受け入れるという傾向にあり、少しでもその手助けになればと考えております。

もちろんお産は安全が第一で、それに関しでは今まで通り医師を始め助産師、看護師が一体となって、妊産婦さんの十分なケアにあたらせていただきます。当院は総合病院ゆえ合併症のある妊婦さんには、専門科の医師と連携を取りながら妊婦管理を行い、安全な分娩を迎えられるように努めております。そして新生児については、専門の小児科医が診察にあたっておりますのでどうかご安心ください。

現状の日本の出生率からみて、平均的に女性が一生にお産をするのは2回か多くて3回ということになります。その数少ない入院生活をより快適に送れることは、妊婦さん誰もが望むところで、そのためにはやはりより良い環境作りが重要であります。

昨今、少子化傾向が叫ばれている一方で、産科医療の現状は特に地方において分娩可能な施設が年々減少傾向にあり、深刻な社会問題になっております。首都圏に目を転じてもその傾向は地方ほど深刻ではないにしても、地域によってその問題は起きているのが現状です。

この城東地域における妊婦さんに、少しでもそういった不安を取り除けるように、そしてより安全な産科医療を提供できるように、新病棟改装にあたり産科スタッフ一同これから尚一層頑張ってまいりますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

入院されて何かお気付きの点がございましたら、なんでも忌憚のないご意見を聞かせていただければありがたいと存じます。

末筆ではありますが、この7月より当科部長を務めさせていただくことになりました。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

診療科のご紹介 小児科編

小児科部長 山口 公一

今回は小児科の紹介をさせていただきます。小児をとりまく医療環境は非常に厳しい状況ですが、私たちは地域に根差した小児医療の充実をはかるべく貢献したいと努力しております。

の伝染性の疾患については隔離室にて対応させていただいております。

時間外診療・救急診療

当院通院中および御紹介の患者様だけでなく受診希望の患者様については、従来通りできる限り対応させていただいておりますが、現在はスタッフの関係で週末は限られた時間のみとなっております。

地域における診療活動

地域における診療活動としては、墨田区他の保健センターにおいて乳児健診やアレルギー相談に出向いております。また、江東区ならびに墨田区における喘息児のための水泳教室の医療面を担当させていただいております。墨田区において夏季に喘息児のためのサマーキャンプの事業においても診療活動を行っています。

いくつかの問題を抱えつつ着実に発展している予防接種を中心とした予防医学と、疾患として増加しつつあるアレルギー疾患対策を踏まえながら、小児疾患全般に対応できるよう努力したいと考えております。何卒よろしくお願ひ申し上げます。



小児科 スタッフ一同

外来診療について

外来診療に関しては、従来同様一般小児診療として、上気道炎、気管支炎、肺炎などの呼吸器疾患、下痢、嘔吐や脱水などの消化器疾患、熱性けいれんやてんかんなどの神経疾患など、小児のいわゆるプライマリーケア全般に対応しています。また、日本小児科学会、日本アレルギー学会における研修教育施設としての認定を取得しており、専門領域の疾患として、増加傾向にあるアレルギー疾患の診療に力を入れています。気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、蕁麻疹などの疾患に対応しており、特に近年社会問題化している食物アレルギーについては、経口負荷試験や免疫療法など診断、治療に積極的に取り組んでおります。

乳児健診としては、1カ月健診だけでなく、6カ月、9カ月、1歳6カ月健診など、他の年齢においても対応しています。

その他、専門外来として神経外来、心臓外来、予防接種や臨床心理士による心理相談を行っています。

入院診療について

入院を必要とするお子様には、小児病棟に入院の上、診療させていただいております。小児の内科疾患だけでなく、一般外科、整形外科、耳鼻科、皮膚科、泌尿器科などの疾患についても、各専門科の担当のもと、小児病棟でケアさせていただいております。インフルエンザや麻疹、水痘など

同愛記念病院の理念 同愛記念病院は地域の要請をふまえ地区の基幹病院として親切で適切な医療を提供し社会に貢献します。

〈診療科目のご案内〉

循環器内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、腎臓内科、消化器内科、神経内科、一般内科、神経科・精神科、アレルギー呼吸器科、小児科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

〈病床数〉403床

当院では外来予約制です。

初診/(月～金)午前8時30分～正午(紹介状のある方は午後3時)
(土) 午前8時30分～午前11時
再診/ご予約のない方:自動再来受付機にて午前8時～正午
次回の予約は診察後にお申し込みください。
休診日/日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

■交通案内

JR総武線 両国駅(西口)から徒歩7分
都営地下鉄浅草線 蔵前駅から徒歩10分
都営地下鉄大江戸線 両国駅から徒歩5分
●都営バス (錦糸町～大塚駅)石原1丁目停留所から徒歩3分



社会福祉法人 同愛記念病院財団
同愛記念病院
〒130-8587 東京都墨田区横網2丁目1番11号
TEL. 03-3625-6381(代) FAX. 03-5608-3211

●次回は2014年1月(第30号)発行予定になります。